

何かに挑戦する気持ちや
挫折を乗り越える強さを身につける。



高野峻さん(1996年生まれ)

東邦高校 出身
愛知東邦大学 経営学部卒業

愛知県警察本部

名古屋市中区三の丸 2-1-1
<https://www.pref.aichi.jp/police/>

なるためには
●必要資格 / 特になし
●主な進路 / 高校を卒業→大学へ進学→公務員試験対策講座を受講→警察官採用試験に合格→警察学校に入校→交番勤務を経験→刑事課に配属

— 学生時代

「高校時代はサッカー部に所属し、部活漬けの毎日でした。全国大会に出場できたこともうれしかったです。卒業後は、サッカーの特待生として愛知東邦大学に進学しました。大学時代について教えてください。」

「大学でもサッカー漬けの日々。大学では、ケガをしたりスタメン落ちをしたり挫折も経験しました。調子がいいときも悪いときも、その波を乗り越えてきた経験は自身の財産になっていきます。就職を考えはじめたとき今までサッカー以外のことに挑戦したことがなかったことに気づきました。新しく何かに挑戦しようと思いい、先輩の影響もあって警察官をめざしました。公務員試験に向け、一般教養から数的処理まで、過去問題を解きながら試験に出やすい箇所や重要部分を幅広く対策しました。対策のいかにもあり、警察官採用試験に合格。大学卒業後警察学校に入校しました」

— 仕事について

「警察学校では、法律の知識、柔道、剣道、逮捕術、体力錬成など、警察官の基礎を学びました。それ以外にも、礼儀作法、制服が乱れていないかなど、警察官として現場に出たときに必要な立ち居振る舞いについても教えてもらいました」

最初配属された部署は？

「最初は交番勤務を経験し、パトロール、交通取締まり、巡回連絡な

— メッセージ



「警察官をめざすなら公務員試験対策はしたほうが安心だと思います。大学が実施している講座があるので受講してみてください。あとは、何かに挑戦する気持ちや挫折を乗り越える強さを身につけておくことも大切です。私は部活を通して、うれしい経験も悔しい経験もすることができました。その経験が今に役立つことを実感しています。高校生活は思ったより短いです。みなさんも、部活でも勉強でもいいので、何かに全力で取り組む経験をしてください！」

— やりがい

「交番勤務をしていたときは、住民からの『ありがとうございませう』という言葉がやりがいでした。わざわざ交番に来所されて感謝の言葉を伝えてくださる方もいたのでうれしかったです。刑事の仕事でも、犯人につながる捜査に取り組むことが、みなさんの安心安全な生活につながることにやりがいを感じます」



自伝

18歳
↓
22歳
↓
27歳

サッカー部に所属し、全国大会に出場。サッカーの特待生で愛知東邦大学に進学。
新しいことに挑戦しようと思いい、警察官を志す。警察官採用試験に合格。
刑事として勤務。地域住民が安心して生活できるよう、日々の仕事に励む。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ！
<http://amb100search.com>

